

プロジェクト評価特論 (2単位)

担当者氏名 志和地弘信・堀内久太郎

◆学習・教育目標

農業開発や農業研究のプロジェクト評価では事業のアウトプット(産出物)よりもアウトカム(効果)やインパクトが求められており、それらの測定は不可欠となっている。そのため、プロジェクト評価は農業開発や農業研究を遂行するうえでの重要なマネジメントツールである。開発・研究プロジェクトの立案・実施・評価に関する理論、手法を学び、各自の調査研究における計画の作成や中間評価に応用する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農業開発

農村開発

プロジェクト事業

評価

インパクト調査

フィールド調査

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	プロジェクト評価の概論		
2	プロジェクト評価に関する		
3	理論 (2～5回)	農業開発や農業研究プロジェクト	農村開発社会学、農業普及および地域開
4		の評価に関する理論を学ぶ。	発論、農業経営学、農業・農村開発政策
5		評価の実施を前提とした研究およ	論に関する基礎知見が必要。
6	研究計画と評価	び調査計画の方法を学ぶ。	
7	(6～8回)		
8		JICAや国際機関が実施するプ	
9	プロジェクト評価の実際(1)	ロジェクトの評価の実際を学ぶ。	
10	(9～11回)		
11			
12	研究計画と評価 PDM		
13	(12～15回)		
14			

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

JICA Guideline for Project Evaluation (September 2004)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

熱帯農業と国際協力／高橋久光・夏秋啓子・牛久保明邦／筑波書房(2006)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

事前の準備、講義中の積極的な発言や参加、レポートの提出を求める。

◆その他受講上の注意事項